

大安寺観月会

日時 平成22年9月23日18時開場



大安寺と竹取物語

会場 大安寺境内

主催 大安寺、劇団高円

出演 河野良文 (大安寺貫主)

大場義昭 (古代史研究家)

司会 都築由美

大安寺の起こり

大安寺の起源は遠く約1400年前。聖徳太子創建の「熊凝精舎」を、舒明天皇が639年に移建して、百濟大寺としました。これが日本最初の天皇立の寺院です。その後、飛鳥時代の筆頭寺院として、高市大寺、大官大寺となり、平城遷都に伴って現在地に移され、大安寺となりました。東西に七重の塔が聳える壮大な伽藍に887名の学侶が居住し、「仏教と文化の総合大学」の観を呈しました。その中には、著名な名僧たちが・・・

河野良文

竹取物語は、日本最古の小説と云われています。書かれたのは、平安時代初期で、源氏物語より約100年前ごろと云われています。作者は、不明ですが紀貫之説などがあります。古事記によれば、第11代垂仁天皇の後に、迦具夜比売命という女性があり、作者はこの迦具夜比売を意識していると思われます。垂仁天皇は四世紀中頃在位説があります。香久山と迦具夜の音の類似から、比売は香久山の近くに住んでいたと思われます。背の君の垂仁天皇の宮は、巻向の珠城宮とされており、通うことのできる十分な距離です。(約5キロ)・比売の父の大筒城垂根王は京都府の京田辺市筒木に住んでいたとされており、また叔父に当たる讚岐垂根王は広陵町の讚岐神社と関連があるとされ、近くに竹取公園があります。物語では、讚岐垂根が竹取の翁に設定されています。迦具夜比売の背の君の垂仁天皇の御陵は、尼辻にある菅原伏見東陵(宝来山古墳227m)です。

大場義昭

かぐや姫の関連地域

